

| | | | |
|-------------------------------------|--|--|--|
| 授業開講年度 | 2026 | 開講キャンパス | さくら夙川キャンパス |
| 開講学期 | 春学期 | 開講曜日・時限 | 月曜4限 |
| 科目コード | ZG0247 | 授業コード | 40271 |
| レベルナンバー | 200 | 配当年次 | 2 |
| 授業科目名 | 英語の音声 | | |
| 担当教員名【代表】 | 石野 尚 | | |
| 担当教員名 | | | |
| 授業形態 | 講義 | | |
| 授業方法 | 対面授業 | | |
| 単位数 | 2.0 | | |
| ディプロマポイント評価観点(※本科目がどの項目に該当しているかを示す) | | | |
| Knowing | | | |
| (知識とリテラシー) | 教養と専門知識【DP1】 | ○ | 知識・情報を活用する力【DP2】 |
| Doing | | | |
| (実践力) | 国際感覚【DP3】 | | 対人基礎力【DP4】 |
| | 対自己基礎力【DP5】 | | 対課題基礎力【DP6】 |
| Being | | | |
| (信念と志) | 豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】 | | 社会的責任【DP8】 |
| 授業の目的 | 1) 音声学の基本的な知識（各音の特徴や発声法、音がつながっておきる変化）を身につけて「実践的な音声学」を学ぶ。 2) 音声記号の理解に基づいて発音を練習し音声表現力を向上する。 3) 日本語の音との比較を通して、音声を学ぶことへの関心を高める。 4) 英語の音やリズムに親しみ、発音を改善し、自信を持って話せるようになることを目指す。 | | |
| 到達目標 | 音声学の基本的な知識（音を表現するための方法（＝音声記号）、英語の各音の特徴、隣接する音がつながっておきる音変化の規則、英語らしいリズムやイントネーション）を確実に身につけ、分かりやすい発音で自信を持って発表できる。 | | |
| 授業概要 | 基本的に各回は以下の手順で進める。 1) 事前学習（キーワードを調べる、論点を整理しておく） 2) 前週の内容の復習ミニクイズに取り組む 3) 教員による解説（音声学の基礎知識について講義形式で学ぶ） 4) ペアやグループワークで知識を実際の発音につなげていく 5) 事後学習（テキストの問題を確認し、振り返りで要点や意見をまとめる） | | |
| 課題レポート等 | ・授業後は振り返りの記述と、発音練習資料の音読を練習して提出する。 ・全回を通して最も印象に残った回の一つを選び、期末レポートを作成する。 | | |
| フィードバックの方法について | 振り返りにはエルキャンパスでコメントし、音読課題にはTeamsでファイルを返却する。 | | |
| 授業時間外学習 | 各回60～90分の授業時間学習を行う。 ・次週のテーマについて、キーワードを調べて論点を整理しておく。 ・授業後は振り返りの記述と、音読を練習し、理解を確認する。 | | |
| 授業回数 | 主題 | 概要 | 授業時間外学習(学習内容・時間) |
| 01 | ガイダンス | 本科目の目的、進め方、評価方法の説明 英語の音声とつづりの関係について | ◆本科目の学修目標をたてる。 プリントの予習（60分） 振り返り記述 |
| 02 | 音を生成する | 発音に用いる部位を確認する。 子音と母音の違いは何かを学ぶ。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 03 | 子音① 閉鎖音・鼻音・摩擦音の特徴と発音練習 | 子音（閉鎖音と鼻音、摩擦音）の特徴を学び、発声を練習する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 04 | 子音② 破擦音・接近音の特徴と発音練習 | 子音（破擦音と接近音）の特徴を学び、発声を練習する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 05 | 母音① 前舌母音・後舌母音の特徴と | 母音（前舌母音と後舌母音）の特徴を学び、発声を練習する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| | 発音練習 | | |
| 06 | 母音② 二重母音・中舌母音の特徴と 発音練習 | 母音（二重母音と中舌母音）の特徴を学 び、発声を練習する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 07 | 音声記号まとめ | 前半の振り返り、IPAカードゲーム | ◆前半の学修状況を振り返り、後 半に向けた目標をたてる。 プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 08 | 音節と子音連結 | 日本語との比較を通して、音節の分け 方、子音連結の特徴を学ぶ。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 09 | 英語の音で遊ぶ | 英語の詩、歌、早口言葉に親しむ。 頭韻と脚韻の規則を理解する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 10 | 強勢、弱形 異音 | ストレスと弱形にみる英語音の特徴を身 につける。音韻規則と異音、ミニマルペ アを学ぶ。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 11 | 英語らしいリズム | 英語の自然なリズム、文の強勢を身につ ける。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 12 | 音の変化（連結・脱落・同 化） | 隣接する二音で起きる音の変化を学ぶ。 連結、脱落、同化の区別を理解する。 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 13 | 音の変化（連結・脱落・同 化） | 様々な音の変化の分別と練習 | プリントの予習と復習（90分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 14 | イントネーション（抑揚）の 重要性 | 話者の意図を表すイントネーション、音 調パターンを練習する。 | プリントの復習（60分） 振り返り記述・音読課題の提出 |
| 15 | 総括 | 振り返りと期末まとめテストの実施 | コースを振り返り、学修内容を確認する。 |
| 成績評価の基準と方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・各回の振り返り記述と音読課題：30% ・授業への積極的参加：15% ・期末レポート：15% ・期末試験：40% <p>*授業内の積極的な発表回数に応じて加点をします。</p> <p>A：講義内容を十分に理解し、応用力を身につけている。講義内容を正確にまとめた上で自分の意見を的確に発信することで他者の学びにも貢献できている。 B：講義内容を十分に理解し、基本知識を身につけている。講義内容を正確にまとめ、自分の意見を含めて多様な振り返りができている。 C：講義内容で理解したことを自分の言葉で他者に伝えることができている。 D：講義内容を理解していることを最低限示すことができている。</p> | | |
| 教科書 | Discovering English Sounds - Phonetics Made Easy -（発音指導と音声学の融合） CENGAGE Learning 978-4-86312-240-6 | | |
| 参考図書 | 適宜プリントを配布 | | |
| 授業に関する質問等の 方法 | 初回授業で担当教員に確認をしてください。 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数によって授業予定の変更や人数制限をする場合がある。 ・履修者を教員が選抜する場合は、(1)国際日本学部、(2)国際日本学部以外の学生とし、成績を考慮して選抜、結果はエルキャンパスの「授業からのお知らせ」に掲示する。 | | |
| 短大同時開講使用欄 | | | |